

令和 8 年度 固定資産税（償却資産） 申告の手引

提出期限 令和 8 年 2 月 2 日（月）

申告書の提出・お問合せは

東近江市税務部資産税課又は各支所へ

お知らせ

- 償却資産の申告には、簡単・便利な電子申告（e L T A X）をぜひ御利用ください。詳しくは 6 ページを確認してください。
- 申告書を郵送される人で受付印を押印した控の返送をご希望の場合は、控用の申告書とともに必ず返信先を明記した封筒に切手を貼付の上、同封してください。
- 東近江市ホームページから、申告書類をダウンロードできます。

《詳しくは、「償却資産の申告」を確認してください。》➡



https://www.city.higashiomi.shiga.jp/kurashi_tetsuzuki/zeikin/1001802/1001829/1001832.html



東近江市税務部資産税課

固定資産税は、土地や家屋のほかに償却資産（事業用資産）についても課税の対象となります。

償却資産の所有者は、地方税法第 383 条（固定資産の申告）の規定により、毎年 1 月 1 日現在の所有状況等を申告していただくことになります。

つきましては、東近江市内に事業用の償却資産を所有されている方はこの手引の要領により、令和 8 年 1 月 1 日現在の償却資産の状況について、期限内に御提出ください。

なお、該当資産がない場合、資産の増減がない場合、休業又は廃業された場合も申告書の提出をお願いします。

【 目 次 】

I 償却資産のあらまし

1	償却資産とは	2
2	償却資産の種類とその具体例	2
3	業種別の主な償却資産	3
4	申告が必要な資産	4
5	申告が不要な資産	5
6	償却方法と取得価額による課税対象の一覧	5

II 償却資産の申告について

1	申告者	6
2	申告方法	6
3	電子申告	6
4	申告書の書き方	7
5	申告書の提出期限及び提出先	7
6	不申告及び虚偽の申告	7

III 償却資産の課税について

1	納税義務者・税額等	8
2	評価額の算出方法	8
3	減価率及び減価残存率表	9
4	課税標準の特例	10
5	増加償却とは	10
6	国税（法人税・所得税）との比較	10
7	主な償却資産の耐用年数	11

記入例

1	償却資産申告書（緑色用紙）の記入例	14
2	種類別明細書（増加資産・全資産用）（緑色用紙）の記入例	15
3	種類別明細書（減少資産用）（赤色用紙）の記入例	16

I 償却資産のあらまし

1 償却資産とは

償却資産とは、土地及び家屋以外の事業の用に供することができる資産で、その減価償却額又は減価償却費が法人税法又は所得税法の規定による所得の計算上、損金又は経費に算入されるもののうち、その取得価額が少額である資産又はその他の政令で定める資産以外のもの（これに類する資産で法人税又は所得税を課されない者が所有するものを含む。）をいいます。

※ 「事業の用に供する」とは

「事業」とは、一定の目的のために一定の行為を継続、反復して行うことをいい、必ずしも営利又は収益そのものを得ることを直接の目的とする必要はありません。したがって、所得税法や法人税法で非課税とされている個人又は法人についても、固定資産税の課税客体となる償却資産を所有していると、申告していただく必要があります。

なお、「事業の用に供している」とは、所有者がその償却資産を自己の営む事業のために使用する場合だけでなく、事業として他人に貸し付ける場合も含まれます。また、直接的には営利に用いられていない従業員の福利厚生施設（社宅・宿舍・寮等）の器具備品なども償却資産の課税客体となります。

2 償却資産の種類とその具体例

償却資産を「資産の種類」ごとに例示すると、次のようになります。

資産の種類	具 体 例
構 築 物	駐車場の舗装路面、フェンス、門、塀、庭園、緑化施設、広告塔、煙突、その他土地に定着する土木設備又は工作物等 ※【建物附属設備】受変電設備、予備電源設備、その他建築設備等
機械及び装置	各種機械（化学、農業、土木、建設、印刷、医療用、工作土木、電気、その他物品の製造・加工・修理に使用する機械全般）、太陽光発電設備等
船 舶	漁船、ボート、貨物船、はしけ、遊覧船等
航 空 機	飛行機、ヘリコプター、グライダー等
車 両 及 び 運 搬 具	フォークリフト、ブルドーザー、クレーン車等の大型特殊自動車、荷車、運搬車、鉄道用又は軌道用の車両等（自動車税又は軽自動車税が課されるものを除く）
工 具 、 器 具 及 び 備 品	机、椅子、応接セット、キャビネット、金庫、陳列ケース、冷蔵庫、テレビ、パソコン、プリンタ、エアコン、看板、事務用備品等

※ 【家屋と償却資産の区分】

家屋（建物）には、電気設備、給排水設備、衛生設備、空調設備、運搬設備等の建築設備（家屋と一体となって家屋の効用を高める設備）が取り付けられていますが、固定資産税においては、それらを家屋と償却資産に区分して評価しています。

3 業種別の主な償却資産

償却資産を「業種」別に例示すると、次のようになります。

業 種	主 な 償 却 資 産 の 内 容
共 通	パソコン、コピー機、エアコン、応接セット、キャビネット、レジスター、内装・内部造作等、外構、外灯、看板（広告塔、袖看板、案内板、ネオンサイン）、自動販売機、舗装路面、駐車場設備等
飲 食 業	テーブル、椅子、厨房器具、冷蔵庫、カラオケ機器、緑化施設等
小 売 業	陳列棚、陳列ケース（冷凍機又は冷蔵機付のものを含む。）、日よけ等
製 造 業	金属製品製造設備、食料品製造設備、旋盤、ボール機、梱包機等
印 刷 業	各種製版機及び印刷機、裁断機等
建 設 業	ブルドーザー、パワーショベル、フォークリフト（軽自動車税の対象となっているものを除く。）、大型特殊自動車、発電機等
娛 楽 業	パチンコ機、パチンコ機取付け台（島工事）、ゲーム機、両替機、カラオケ機器、ボウリング場設備、ゴルフ練習場設備等
理 容 ・ 美 容 業	理容・美容椅子、洗面設備、消毒殺菌機、サインポール等
医 （ 歯 ） 業	医療機器（レントゲン装置、手術機器、歯科診療ユニット、ファイバースコープ等）、調剤機器等
ク リ ー ニ ン グ 業	洗濯機、脱水機、乾燥機、プレス機、ボイラ、ビニール包装設備等
不 動 産 貸 付 業	受変電設備、屋外給排水管、発電機設備、蓄電池設備、中央監視制御装置、門・塀・フェンス・緑化施設等の外構工事、駐車場等の舗装路面、自転車置場、太陽光発電設備等
ホ テ ル ・ 旅 館 業	門・フェンス、洗濯設備、厨房設備、ベッド、カーテン、緑化施設等
駐 車 場 業	受変電設備、照明等の電気設備、機械式駐車設備、駐車料金自動計算装置、舗装路面、白線、車止め、柵等
農 業	畦工事、水路工事、田植機、乾燥機、脱穀機、コンバイン・トラクター等の大型特殊自動車等、ビニールハウス等
ガソリンスタンド	洗車機、ガソリン計量器、独立キャノピー、防壁、地下タンク等

4 申告が必要な資産

令和8年1月1日現在において、事業の用に供することができる資産が申告の対象です。
なお、次に掲げるものも申告の必要があります。

- (1) 遊休資産・未稼働資産であっても、いつでも事業の用に供しうる状態にあるもの
- (2) 建設仮勘定で計上されている資産であっても、一部又は全部を1月1日現在において事業の用に供しているもの
- (3) 簿外資産及び償却済資産であっても、事業の用に供することができるもの
- (4) 福利厚生用の資産（社宅用・宿舍用・寮用等）で、減価償却できるもの
- (5) 償却資産の価値を増加させるための費用（改良費）※本体と区分して申告してください。
- (6) 割賦買入資産で割賦代金の完済していないものであっても、既に事業の用に供されているもの
- (7) 家屋の建築設備（附帯設備）で償却資産に該当するもの（下表参照）

※ 家屋の所有者以外の者（テナント）が家屋の附帯設備を取付けた場合は、家屋の一部であっても償却資産とみなします（東近江市税条例第54条第8項）ので、建物勘定に計上している場合でも、償却資産として申告してください（賃貸借契約の内容とは無関係）。ただし、平成23年1月2日以降に取り付けた附帯設備に限ります。

※ リース資産に関しては、原則としてリース会社が申告してください。

設 備 区 分	償却資産として取扱うもの（例）
電 気 設 備	ネオンサイン、投光器、スポットライト、水銀灯、変電設備、予備電源設備、中央監視制御装置
太陽光発電設備等※	太陽光パネル、架台、接続ユニット、パワーコンディショナー、表示ユニット、電力量計等
電 話 ・ 通 信 設 備	電話機、電話交換機、電源設備、インターホン設備、拡声装置設備
ガ ス 設 備	屋外配管、メーター
給 排 水 設 備	井戸、水道本管、屋外給水塔、屋外給排水設備
給 湯 設 備	独立煙突及び煙道
消 火 設 備	消火器設備、ホース及びノズル
空 調 設 備	パッケージ型エアコン、ルームエアコン、独立煙突及び煙道
店 舗 設 備	店用簡易舗装、簡易間仕切、陳列棚、ショーウィンドウ、カウンター
店舗及び事業用造作設備	賃借人（テナント）が、賃借建物に施した建築設備、内部造作

※ 太陽光発電設備等の償却資産と家屋の区分

償却資産と家屋の区分については次のとおりです。表の「償却」と記載している設備は償却資産として申告していただき、「家屋」と記載している設備は家屋として課税します。

太陽光パネルの設置方法	太陽光パネル	架台	接続ユニット	パワーコンディショナー	表示ユニット	電力量計等
家屋と一体の建材（屋根材など）	家屋	—	償却	償却	償却	償却
架台に乗せて屋根に設置	償却	償却	償却	償却	償却	償却
家屋以外の場所に設置	償却	償却	償却	償却	償却	償却

5 申告が不要な資産

次の資産は、償却資産の対象にならないので申告の必要はありません。

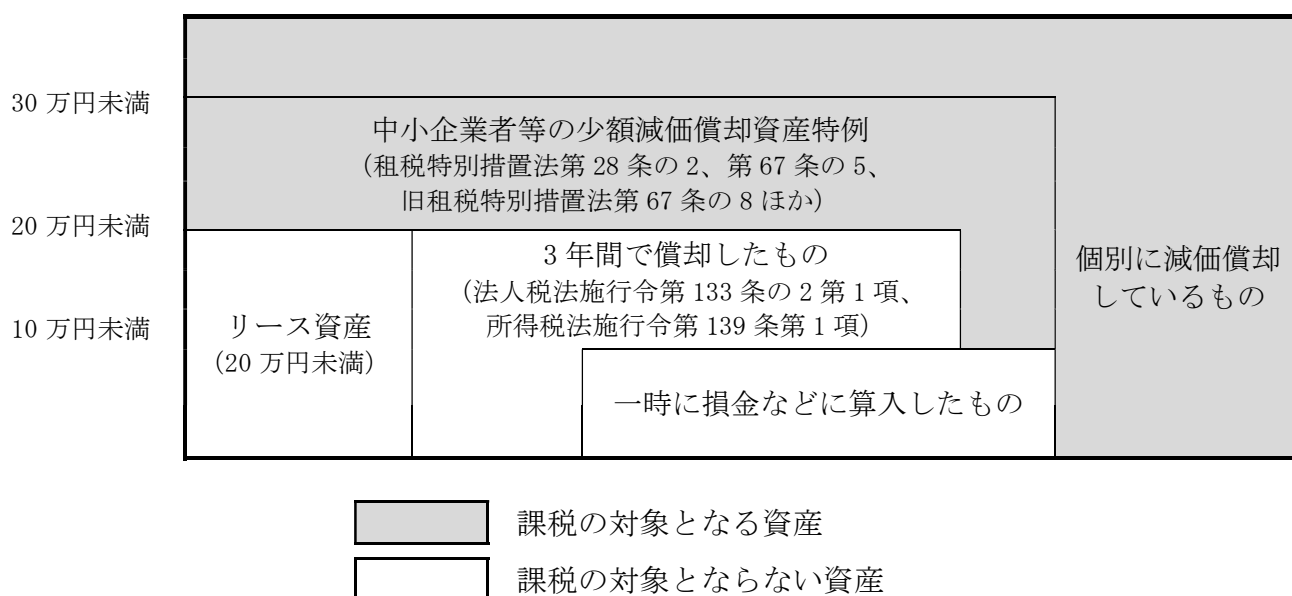
- (1) 土地・家屋として固定資産税が課せられている資産
- (2) 自動車税（種別割）・軽自動車税（種別割）の課税客体である自動車・原動機付自転車・軽自動車・小型特殊自動車・二輪の小型自動車
- (3) 牛、馬、果樹その他の生物（観賞用、興行用に供する生物を除く。）
- (4) 耐用年数1年未満の資産又は取得価額が10万円未満の償却資産について、税務会計上一時に損金などに算入されたもの（6 償却方法と取得価額による課税対象の一覧 参照）
- (5) 棚卸資産（商品等）及び繰延資産
- (6) 無形減価償却資産（ソフトウェア、漁業権、特許権等）
- (7) 取得価額が20万円未満の償却資産を、税務会計上3年間で一括償却しているもの
- (8) 法人税法第64条の2第1項・所得税法第67条の2第1項に規定するリース資産で取得価額20万円未満のもの

6 償却方法と取得価額による課税対象の一覧

固定資産税（償却資産）において課税の対象から除外する、いわゆる「少額資産」は地方税法の規定により、取得価額10万円未満の資産のうち一時に損金などに算入したもの、取得価額20万円未満の資産のうち3年間で償却したもの及び法人税法第64条の2第1項・所得税法第67条の2第1項に規定するリース資産で取得価額20万円未満のものをいいます。

このことから、租税特別措置法を適用して損金などに算入した資産については、固定資産税（償却資産）の課税対象になります。

※ 取得価額が10万円未満の資産であっても、一時に損金などに算入せず個別に償却しているものは、課税対象となります。



II 償却資産の申告について

1 申告者

個人や法人で事業を行っている方で、1月1日現在に償却資産を所有している方です。
地方税法第383条の規定により、毎年1月1日（賦課期日）現在の所有状況（種類、取得時期、取得価額、耐用年数等）を申告いただくことになっています。

「前年度分償却資産一覧表」が同封されている方につきましては、内容を確認の上、申告してください。

※ 前年中に資産の増減のない場合、該当資産のない場合、休業、廃業、転出があった場合についても、申告書の該当欄に○を記入し、申告してください。

2 申告方法

次の表に基づき償却資産の書類を提出してください。記載の方法は14ページ以降の「記入例」を参照してください。

			提出書類
昨年度に引き続いて申告される方	資産に増減のある場合	令和8年1月1日までの増加資産と減少資産を申告してください	・ 申告書 ・ 種類別明細書(増加・減少)
	資産に増減のない場合	申告書の「 <u>資産の増減なし</u> 」に○を記入し、提出してください。	・ 申告書
	休業・廃業・転出等された場合	申告書の「 <u>休業・廃業・転出</u> 」の該当箇所に○をつけ、その年月日を記入してください。減少の種類別明細書の提出は必要ありません。	・ 申告書
初めて申告される方	資産のある場合	令和8年1月1日現在に所有されている資産の全部を申告してください。	・ 申告書 ・ 種類別明細書(全資産)
	資産のない場合	申告書の「 <u>該当資産なし</u> 」に○を記入し、提出してください。	・ 申告書
自社の電算処理により全資産申告をされる方		令和8年1月1日現在に所有されている資産の全部を申告してください。	・ 申告書 ・ 種類別明細書(全資産)

3 電子申告

東近江市では、eLTAX（地方税ポータルシステム）による電子申告の受付を行っています。

eLTAXとは、市税に関する申告及び申請・届出の手続きをインターネットを利用して電子的に行うシステムです。

システムを利用いただくことにより、自宅やオフィス等からも申告が可能です。

eLTAX ホームページ	https://www.eltax.lta.go.jp/
ヘルプデスク電話番号	0570-081459（つながらない場合:03-5521-0019） 9:00～17:00（土・日、祝日、年末年始を除く。）
eLTAX 利用時間	8:30～24:00（土・日、祝日、年末年始を除く。）

4 申告書の書き方

償却資産申告書及び種類別明細書の記入例（14 ページ以降の「記入例」）を参考に作成してください。文字、数字等の記入はボールペンを使用し、枠からはみ出さないようにしてください。

償却資産申告書 (緑色用紙)	必ず提出してください。
	資産に変更がない場合や該当資産がない場合、又は休業、廃業、転出された場合も提出してください。
種類別明細書 (増加資産・全資産用) (緑色用紙)	増加資産がある場合は、提出してください。
	用紙の上部分の「増加資産」を○で囲み、前年中（令和 7 年 1 月 2 日から令和 8 年 1 月 1 日まで）に増加（取得及び受入）した資産及び別添の「前年度分償却資産一覧表」に記載もれの資産を全て記入してください。
	初めて申告される場合は、提出してください。
	用紙の上部分の「全資産用」を○で囲み、令和 8 年 1 月 1 日現在所有し、かつ、東近江市内に所在する資産を全て記入してください。
種類別明細書 (減少資産用) (赤色用紙)	減少資産がある場合は、提出してください。
	前年中（令和 7 年 1 月 2 日から令和 8 年 1 月 1 日まで）に減少（売却、滅失又は移動）した資産を全て記入してください。
	変更がない場合は、提出不要です。

5 申告書の提出期限及び提出先

申告書は令和 8 年 2 月 2 日（月）までに資産税課又は各支所へ提出してください。（郵送可）

なお、押印廃止に伴い、窓口に来られた方（代理人を含む。）の本人確認をさせていただきます。

- (1) 申告書の控えの返送を希望される方は、切手を貼り付けた返信用封筒（返送先を記入）を同封してください。同封のない場合は、返送できません。
- (2) 申告受付は、令和 8 年 1 月 5 日（月）から資産税課及び各支所窓口にて行います。期限間近になると窓口が混雑しますので、早めの提出に御協力をお願いします。

6 不申告及び虚偽の申告

正当な理由なく申告されない場合は、地方税法第 386 条及び東近江市税条例第 75 条の規定により過料を科されることがあります。

また、虚偽の申告をされた場合は、地方税法第 385 条の規定により拘禁刑又は罰金を処されることがあります。

Ⅲ 償却資産の課税について

1 納税義務者・税額等

償却資産に係る納税義務者、税額等については下表のとおりです。

区 分	説 明
納税義務者	償却資産課税台帳に所有者として登録されたもの 毎年1月1日現在における償却資産の現実の所有者
課税標準額	毎年1月1日現在の決定価格で、償却資産課税台帳に登録されたもの ※課税標準の特例が適用される場合は、その資産の決定価格に特例率を乗じたもの
税率・税額	$\text{税 額} = \frac{\text{課税標準額}}{1000} \times \text{税率}$ (百円未満切捨) (千円未満切捨) (1.4/100)
免 税 点	課税標準額（全資産合計額）が150万円未満の場合は、課税されません。 ただし、 <u>150万円未満の場合でも必ず申告してください。</u>
納税通知書の送付	税額の算出後、納税通知書によって、市から納税義務者の方に対し税額を通知し、市の条例で定められた年4期（5月、7月、12月、2月）に分けて又は全期前納により納税していただきます。

2 評価額の算出方法

償却資産の評価額は、固定資産評価基準に基づき、取得価額を基礎として取得後の経過年数に応じた価値の減少（減価）を考慮して求めます。

【令和7年中に取得された償却資産】

$$\text{価額(評価額)} = \text{取得価額} \times \left(1 - \frac{\text{減価率}}{2}\right)$$

【令和6年以前に取得された償却資産】

$$\text{価額(評価額)} = \text{前年度の評価額} \times (1 - \text{減価率})$$

以後、毎年この方法により計算し、評価額が取得価額の5%になるまで償却します。
計算した額が取得価額の5%を下回る場合は、取得価額の5%の額が評価額となります。

【計算例】「令和 7 年 4 月取得、取得価額 700,000 円、耐用年数 3 年」の資産の場合

※ 耐用年数「3 年」に応じた減価率は、0.536

(下表「減価率及び減価残存率表」参照)

令和 8 年度	700,000 円	×	(1 - 0.536 / 2)	=	512,400 円
令和 9 年度	512,400 円	×	(1 - 0.536)	=	237,753 円
令和 10 年度	237,753 円	×	(1 - 0.536)	=	110,317 円
令和 11 年度	110,317 円	×	(1 - 0.536)	=	51,187 円
令和 12 年度	51,187 円	×	(1 - 0.536)	=	23,750 円 < 35,000 円

※ 令和 12 年度で取得価額の 5 % (35,000 円) を下回るため、以降は 35,000 円になります。

3 減価率及び減価残存率表

償却資産の評価額を算出するための減価率は下表のとおり耐用年数に応じて定められています。

耐用年数	減価率	減価残存率		耐用年数	減価率	減価残存率	
		前年中取得	前年前取得			前年中取得	前年前取得
	r	1 - r / 2	1 - r		r	1 - r / 2	1 - r
2	0.684	0.658	0.316	26	0.085	0.957	0.915
3	0.536	0.732	0.464	27	0.082	0.959	0.918
4	0.438	0.781	0.562	28	0.079	0.960	0.921
5	0.369	0.815	0.631	29	0.076	0.962	0.924
6	0.319	0.840	0.681	30	0.074	0.963	0.926
7	0.280	0.860	0.720	31	0.072	0.964	0.928
8	0.250	0.875	0.750	32	0.069	0.965	0.931
9	0.226	0.887	0.774	33	0.067	0.966	0.933
10	0.206	0.897	0.794	34	0.066	0.967	0.934
11	0.189	0.905	0.811	35	0.064	0.968	0.936
12	0.175	0.912	0.825	36	0.062	0.969	0.938
13	0.162	0.919	0.838	37	0.060	0.970	0.940
14	0.152	0.924	0.848	38	0.059	0.970	0.941
15	0.142	0.929	0.858	39	0.057	0.971	0.943
16	0.134	0.933	0.866	40	0.056	0.972	0.944
17	0.127	0.936	0.873	41	0.055	0.972	0.945
18	0.120	0.940	0.880	42	0.053	0.973	0.947
19	0.114	0.943	0.886	43	0.052	0.974	0.948
20	0.109	0.945	0.891	44	0.051	0.974	0.949
21	0.104	0.948	0.896	45	0.050	0.975	0.950
22	0.099	0.950	0.901	46	0.049	0.975	0.951
23	0.095	0.952	0.905	47	0.048	0.976	0.952
24	0.092	0.954	0.908	48	0.047	0.976	0.953
25	0.088	0.956	0.912	49	0.046	0.977	0.954
				50	0.045	0.977	0.955

4 課税標準の特例

地方税法第 349 条の 3 及び同法附則第 15 条、第 15 条の 2 及び第 15 条の 3 に規定される一定の要件を備えた資産には、課税標準の特例が適用されます。該当する資産を所有する場合は、添付書類として特例適用が分かる書類等の提出が必要です。

新たに申告される場合は、「固定資産税の課税標準の特例に関する申告書」を添付書類と共に提出してください。申告書は市ホームページからダウンロードできます。

なお、詳しい特例適用資産の内容、適用期間等についてはお問合せください。

5 増加償却とは

増加償却とは、通常平均的な使用時間を超えて使用している機械及び装置について、税務会計上、その割合に応じ償却額を加算できる制度で固定資産税（償却資産）の申告・評価計算を行う場合も同様の控除額の加算を行うことができます。

増加償却を適用する場合には、所轄税務署長に提出した増加償却の届出書の写しを添付してください。

6 国税（法人税・所得税）との比較

固定資産税（償却資産）と国税では取扱いが異なる点があります。

項 目	固定資産税（償却資産）の取扱い	国税の取扱い
償却計算の期間	暦年（賦課期日制度）	事業年度
減価償却の方法	定率法 （国税では旧定率法にあたる）	建物以外の一般の資産は、 定率法・定額法の選択制
前年中の新規取得資産	半年償却（1／2）	月割償却
圧縮記帳等の制度	認めていない	認めている
特別償却・割増償却	認めていない	認めている
増加償却	認めている	認めている
評価額の最低限度	取得価額の 5 %	1 円（備忘価額）
改良費	区分評価（改良を加えた資産と改良費を区分して評価）	原則区分評価

7 主な償却資産の耐用年数

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」別表第1、別表第2より抜粋

【単位：年】

1. 構築物、建物附属設備		広告塔、野立看板（金属製）	20
		（その他）	10
屋外給排水衛生ガス設備	15	緑化施設及び庭園（工場）	7
電気設備、照明設備 ※家屋評価対象除く。 （蓄電池電源設備）	6	（その他）	20
（その他のもの）	15	構内舗装（コンクリート）	15
冷暖房、通風、ボイラー設備 （冷凍機の出力 22KW以下のもの）	13	（アスファルト）	10
（その他のもの）	15	（ビチューマルス）	3
昇降機設備（エレベーター）	17	門塀（コンクリート、コンクリートブロック）	15
（エスカレーター）	15	（石造）	35
消火、排煙又は災害報知設備及び格納式避難設備	8	焼却炉（れんが造）	7
アーケード又は日よけ（金属製）	15	（金属製）	10
（その他）	8	壁、棧橋、防壁、塔、水槽	
陳列棚、カウンター等店用簡易装備 ※家屋評価以外		（鉄筋コンクリート、石造）	50
可動間仕切り（簡易なもの）	3	（コンクリート、ブロック造）	30
（その他のもの）	15	ガードレール、打込み井戸、街路灯	10

【単位：年】

2. 機 械 及 び 装 置		印刷業又は印刷関連業用設備 （デジタル印刷システム設備）	4
食料品製造業用設備	10	（製本業用設備）	7
飲料、たばこ又は飼料製造業用設備	10	（新聞業用設備）	
繊維工場用設備		モノタイプ、写真又は通信設備	3
炭素繊維製造設備（黒鉛化炉）	3	その他の設備	10
（その他の設備）	7	（その他の設備）	10
その他の設備	7	なめし革、なめし革製品又は毛皮製造業用設備	9
木材又は木製品（家具を除く。）製造業用設備	8	窯業又は土石製品製造業用設備	9
家具又は装備品製造業用設備	11	非鉄金属製造業用設備	
パルプ、紙又は紙加工品製造業用設備	12	（核燃料物質加工設備）	11
ゴム製品製造業用設備	9	（その他の設備）	7
石油製品又は石炭製品製造業用設備	7	プラスチック製品製造業用設備	8

【単位：年】

2. 機 械 及 び 装 置 つづき		鉱業、採石業又は砂利採取業用設備 (石油又は天然ガス鉱業用設備)	
宿泊業用設備	10	坑井設備	3
飲食店業用設備	8	掘さく設備	6
化学工場用設備 (臭素、よう素又は塩素、臭素若しくは よう素化合物製造設備)	5	その他の設備	12
(塩化りん製造設備)	4	(その他の設備)	6
(活性炭製造設備)	5	放送業用設備	6
(にかわ・ゼラチン製造設備)	5	映像、音声又は文字情報制作業用設備	8
(半導体用フォトレジスト製造設備)	5	鉄道業用設備 (自動改札装置)	5
(フラットパネル用カラーフィルター、 偏光板又は偏光板用フィルム製造設備)	5	(その他の設備)	12
(その他の設備)	8	道路貨物運送業用設備	12
鉄鋼業用設備		運輸に附帯するサービス業用設備	10
(表面処理鋼材又は鉄粉製造業又は 鉄スクラップ加工処理業用設備)	5	飲食料品卸売業用設備	10
(純鉄、原鉄、ベースメタル、フェロアロイ、 鉄素形材又は鋳鉄管製造業用設備)	9	建築材料、鉱物又は金属材料等卸売業用設備 (石油又は液化石油ガス卸売用設備 (貯そう除く。))	13
(その他の設備)	14	(その他の設備)	8
金属製品製造業用設備		飲食料品小売業用設備	9
(金属被覆及び彫刻業又は打はく及び 金属製ネームプレート製造業用設備)	6	その他の小売業用設備 (ガソリン又は液化石油ガススタンド設備)	8
(その他の設備)	10	(その他の設備) 主として金属製のもの	17
はん用機械器具製造業用設備	12	その他のもの	8
生産用機械器具製造業用設備 (金属加工機械製造設備)	9	倉庫業用設備	12
(その他の設備)	12	技術サービス業用設備 (計量証明業用設備)	8
業務用機械器具製造業用設備	7	(その他の設備)	14
電子部品、デバイス又は電子回路製造業用設備 (光ディスク製造設備)	6	洗濯業、理容業、美容業又は浴場業用設備	13
(プリント配線基板製造設備)	6	その他の生活関連サービス業用設備	6
(フラットパネルディスプレイ、半導体集 積回路又は半導体素子製造設備)	5	自動車整備業用設備	15
(その他の設備)	8	その他のサービス業用設備	12
電気機械器具製造業用設備	7	娯楽業用設備	
情報通信機械器具製造業用設備	8	(映画館又は劇場用設備)	11
輸送用機械器具製造業用設備	9	(遊園地用設備)	7
その他の製造業用設備	9	(ボウリング場用設備)	13
農業用設備	7	(その他の設備) 主として金属製のもの	17
林業用設備	5	その他のもの	8
漁業用設備	5	教育業又は学習支援業用設備 (教習用運転シミュレータ設備)	5
水産養殖業用設備	5	(その他の設備) 主として金属製のもの	17
総合工事業用設備	6	その他のもの	8
熱供給業用設備	17	前掲の機械及び装置以外のもの並びに前掲の 区分によらないもの (機械式駐車設備)	10
水道業用設備	18	ブルドーザー、パワーショベルその他の自 走式作業用機械設備	8
通信業用設備	9	(その他の設備) 主として金属製のもの	17
		その他のもの	8
		太陽光発電設備	17

3. 船	船	省略
4. 航	空 機	省略

【単位：年】

5. 車 両 及 び 運 搬 具	フォークリフト	4
	自転車及びリヤカー	2

【単位：年】

6. 工具、機器及び備品		インターホン、放送用設備	6
		電話設備その他の通信機器	
電子計算機		(デジタル)	6
(パーソナルコンピューター)	4	(その他のもの)	10
(サーバー)	5	カメラ、映写機	5
測定工具、検査工具	5	陳列ケース (冷凍機及び冷蔵機付)	6
治具、取付工具	3	(その他)	8
ロール (金属圧延用)	4	応接セット (接客業用)	5
(その他)	3	(その他)	8
金型、鋳型、切削工具	2	接客業用じゅうたん、カーテン	3
鍛圧工具、打抜工具	3	接客業用家具	5
作業工具、運搬工具、漁具	3	室内装飾品 (金属製)	15
シート及びロープ	2	(その他)	8
理容、美容機器	5	ベッド	8
厨房用品 (陶磁器、ガラス)	2	看板、ネオンサイン	3
(その他のもの)	5	マネキン人形、衣装、模型	2
医療機器 (調剤機器)	6	自動販売機	5
(消毒殺菌用機器)	4	金庫 (手さげ金庫)	5
(手術機器)	5	(その他のもの)	20
(歯科診療用ユニット)	7	楽器	5
(光学検査機器、ファイバースコープ)	6	焼却炉	5
(レントゲン、救急医療用)	4	パチンコ器、ビンゴ器等球戯用具及び	2
(血液透析又は血しょう交換用機器)	7	射的用具	
ラジオ、テレビジョンその他の音響機器	5	スポーツ具	3
冷暖房機、冷蔵庫等電気又はガス機器	6		
レジスター、複写機、ファクシミリ及びその他の事務機器	5		

※ 耐用年数の改正について

税制改正における「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の改正により、減価償却資産の耐用年数が変更された場合、所有する該当資産については、改正後の耐用年数での申告をお願いします。

また、耐用年数の変更がある場合は、その変更内容を申告書の備考欄に記入してください。

償却資産申告書 (緑色用紙) の記入例

申告書を提出する年月日を記載してください。

「5 事業開始年月」
個人の方は事業を
開始した年月、法人
の場合は設立年月を
記載してください。

「4 事業種目」事業内容を具体的に記載してください。
(例：金属加工製造業)

「3 個人番号又は法人番号」
個人の方は12桁の個人番号を、
法人の方は13桁の法人番号を右詰
めで記載してください。償却資産
を共有されている方は、記載不要
です。

「6 この申告に応答する者の…」
「7 税理士等の氏名」
この申告について応答される方の係名、氏名、電話番号を、税理士等に委嘱されている場合は、その方の方の氏名、電話番号を記載してください。

「1 住所」住所(又は納税通知書送達先)及び電話番号を正確に記載し、ふりがなを付し
てください。

「2 氏名」
氏名、ふりがなを記載し
てください。
なお、所有者が法人の場
合は、その名称及び代表者
の氏名を記載してください。
屋号があれば記載してく
ださい。

「取得価額」

- (イ) 前年中に取得したものの、
- (ロ) 前年中に減少したものの、
- (ハ) 前年中に取得したものの、

それぞれの取得価額の合計額を資産の種類別に記載していただく。

(二) には(イ)-(ロ)+(ハ)によって算出した取得価額の合計額を資産の種類別に記載していただく。

昭和8年

[illegible]

「19 備考（添付書類等）」

次のような事項を記載してください。

①償却資産一覧表に誤りがある場合は、修正内容

②添付書類の名称

③償却資産が火災その他の事故により著しく損傷したこと、また、これに類する特別な事由があり、かつ、その価格が著しく減少した場合には、その価格の程度

④前年中の所有者の住所、氏名又は名称に変更があった場合、その者の住所、氏名

⑤納税管理人を定めている場合、その者の住所、氏名

⑥その他、この申告に必要な事項及び償却資産の評価に参考となるべき事項

「18 次に該当する方は…」
1 ～ 4 に該当する場合は○で囲んでください。
「休業・廃業・転出」に該当する場合はその年月を、「特例適用資産」がある場合は、その根拠法令を記載してください。

「18 次に該当する方は…」
1 ～ 4 に該当する場合は○で囲んでください。
「休業・廃業・転出」に該当する場合はその年月を、「特例適用資産」がある場合は、その根拠法令を記載してください。

「17 事業用家屋の…」
事業所用家屋の所有区分について該当する方を○で囲んでください。

「16 借用資産」
 償却資産を借用している方は、資産の貸主(リース会社等)の氏名(名称)、住所を記載してください。

「15 事業所(資産)の所在地」
申告先の同一市町村に於ける事業所等資産の所在地を記載してください。また、2以上の事業所等資産の所在地がある場合には、それぞれの所在地名を記載し、主たる番号を○で囲んでください。

「8～14」該当する方は○で囲んでください。
※「9. 増加償却の届出」とは、平均使用時間を超え、税務会計上償却額を加算のできる制度のことです。

「18 次に該当する方は…」
1 ～ 4 に該当する場合は○で囲んでください。
「休業・廃業・転出」に該当する場合はその年月を、「特例適用資産」がある場合は、その根拠法令を記載してください。

種類別明細書(増加資産・全資産用) (緑色用紙) の記入例

- (1) この明細には、前年中(令和7年1月2日～令和8年1月1日)に取得した資産及び他からの移動資産、又は前年前に取得した資産で、①申告漏れ資産、②他からの移動資産を記載してください。
- (2) 改良費は本体と区別して記載してください。
- (3) 電子計算機(ウ)アラビア文字(エ)アルファベット(イ)カタカナ(ウ)アラビア文字(エ)アルファベット(大文字のみ使用可)を使用し、枠の中に記載してください。

(「年度」欄には、申告年度“8”を記載してください。)

申告書右上部に印字されている所有者コードを記載してください。(初めて申告される事業者の方には記載不要です。)

「異動区分」
資産の異動に関して、該当する番号を○で囲んでください。
1. 増加
3. 訂正

「1. 構築物」
「2. 機械及び装置」
「3. 船舶」
「4. 航空機」
「5. 車両及び運搬具」
「6. 工具、器具及び備品」
上記の資産の種類に対応する1から6までの数字を記載してください。

「資産の名称等」
資産の名称(品名)、型式及び規格等を記載してください。

「取得価額」
償却資産を取得するために要した金額(取引運賃、荷役費、購入手数料、関税、据付金を含む。)を記載してください。圧縮記帳を行っている資産は、圧縮前の取得価額を記載してください。

増加の申告をされる場合は増加資産を○で囲んでください。資産の全部を申告される場合は全資産用を○で囲んでください。

「増加事由」
資産が増加したことについて、該当する増加分の番号を○で囲んでください。
1. 新品取得
2. 中古品取得
5. 移動
6. その他

「摘要」
非課税資産、課税標準の特例該当、短縮耐用年数、増加償却、中古資産の見積り耐用年数など具体的に記載してください。

令和8年度

種類別明細書

(増加全資産用)

所 有 者 名

取得年月

取得日

0123456

取得年月

取得日

物件番号

資産の名称等

数量

取得年月

取得価額

耐用年数

増加事由

摘要

0132

プレス機

1

551

200000

5

1・2・5・6

02132

研削機

1

515

230000

10

1・2・5・6

取得価額訂正

03132

包装機

2

537

390000

10

1・2・5・6

中古購入

04132

工作機械

1

3609

500000

12

1・2・5・6

特別適用法第349条の3の3項

05132

冷却装置

1

533

250000

15

1・2・5・6

中古見機師用年数採用

06132

溶接機

1

4208

355000

10

1・2・5・6

大阪工場より移動

07133

1・2・5・6

08133

1・2・5・6

09133

1・2・5・6

10133

1・2・5・6

11133

1・2・5・6

12133

1・2・5・6

13133

1・2・5・6

14133

1・2・5・6

15133

1・2・5・6

16133

1・2・5・6

17133

1・2・5・6

18133

1・2・5・6

19133

1・2・5・6

20133

1・2・5・6

船票簿別コード

00002

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期・上期

当年度内・上期

- (1) この明細には、前年中(令和7年1月2日～令和8年1月1日)に減少(売却、滅失又は移動)した資産を全て記入してください。
- (2) 改良費は本体と区別して記載してください。
- (3) 電子計算機の処理データとしますので、(ア)漢字(イ)カタカナ(ウ)アラビア文字(エ)アルファベット(大文字のみ使用可)を使用し、枠の中に記載してください。

(「年度」欄には、申告年度“8”を記載してください。)

申告書右上部に印字されている所有者コードを記載してください。(初めて申告される事業者の方は記載不要です。)

「異動区分」資産の異動に関し、該当する番号を○で囲んでください。

2. 減少

3. 訂正

「1. 構築物」

「2. 機械及び装置」

「3. 船舶」

「4. 航空機」

「5. 車両及び運搬具」

「6. 工具、器具及び備品」

上記の資産の種類に対応する1から6までの数字を記載してください。

「資産の名称等」

前年中に減少した資産の名称等を記載してください。

「取得価額」

減少後の取得価額を記入して下さい。

摘要欄に減少前の取得価額を記入して下さい。

※資産の全部が減少した場合、評価額の欄には0が入ります。

種類別明細書(減少資産用) (赤色用紙) の記入例

☆減少、修正する資産のみを記入してください。

「物件番号」

手元に残りました償却資産明細書一覧表により、抹消又は減少した資産の「資産番号」を記載してください。

令和8年度										令和8年度									
種類別明細書(減少資産用)										種類別明細書(減少資産用)									
所有者名										所有者名									
0123456										0123456									
行番	物件番号	資産の名称等	取得年月	取得価額	取得価額	取得価額	取得価額	取得価額	取得価額	行番	物件番号	資産の名称等	取得年月	取得価額	取得価額	取得価額	取得価額	取得価額	取得価額
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
01	2	マシニングセンタ	1	5	4	3	1	5	6	3	1	5	6	3	1	5	6	3	1
02	3	NO旋盤	2	4	23	9	0	10	4	24	3	4	5	6	3	4	5	6	3
03	3	油圧ショベル	1	3	50	8	3	5	1	3	1	5	6	3	1	5	6	3	1
04	3	パソコン	3	5	3	0	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4
05	3	フライト盤	1	3	61	5	12	4	870	12	3	62	3	4	5	6	3	4	5
06	3	コピー機	5	4	15	5	990	800	5	4	16	3	1	5	6	3	4	5	6
07	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
08	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
09	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
10	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
11	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
12	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
13	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
14	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
15	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
16	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
17	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
18	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
19	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3
20	2	3	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3	4	5	6	3

「摘要」

① 当該資産が減少した事由について、「3.売却」にあるはその売却先の名称等を、「4.滅失」にあるはその滅失理由等を、「5.移動」にあるはその受入先の所在地等を、「6.その他」にあるはその減少事由等を記載してください。

② その他の当該資産が減少したことについて必要な事項を記載してください。

「減少事由」

資産が減少したことについて、該当する減少事由の番号を○で囲んでください。

3. 売却

4. 滅失

5. 移動

6. その他

「取得価額」の欄は、1 取得、2 訂正、3 減少、4 滅失、5 移動、6 売却、7 異動、8 異動、9 異動、10 異動、11 異動、12 異動、13 異動、14 異動、15 異動、16 異動、17 異動、18 異動、19 異動、20 異動、21 異動、22 異動、23 異動、24 異動、25 異動、26 異動、27 異動、28 異動、29 異動、30 異動、31 異動、32 異動、33 異動、34 異動、35 異動、36 異動、37 異動、38 異動、39 異動、40 異動、41 異動、42 異動、43 異動、44 異動、45 異動、46 異動、47 異動、48 異動、49 異動、50 異動、51 異動、52 異動、53 異動、54 異動、55 異動、56 異動、57 異動、58 異動、59 異動、60 異動、61 異動、62 異動、63 異動、64 異動、65 異動、66 異動、67 異動、68 異動、69 異動、70 異動、71 異動、72 異動、73 異動、74 異動、75 異動、76 異動、77 異動、78 異動、79 異動、80 異動、81 異動、82 異動、83 異動、84 異動、85 異動、86 異動、87 異動、88 異動、89 異動、90 異動、91 異動、92 異動、93 異動、94 異動、95 異動、96 異動、97 異動、98 異動、99 異動、100 異動、101 異動、102 異動、103 異動、104 異動、105 異動、106 異動、107 異動、108 異動、109 異動、110 異動、111 異動、112 異動、113 異動、114 異動、115 異動、116 異動、117 異動、118 異動、119 異動、120 異動、121 異動、122 異動、123 異動、124 異動、125 異動、126 異動、127 異動、128 異動、129 異動、130 異動、131 異動、132 異動、133 異動、134 異動、135 異動、136 異動、137 異動、138 異動、139 異動、140 異動、141 異動、142 異動、143 異動、144 異動、145 異動、146 異動、147 異動、148 異動、149 異動、150 異動、151 異動、152 異動、153 異動、154 異動、155 異動、156 異動、157 異動、158 異動、159 異動、160 異動、161 異動、162 異動、163 異動、164 異動、165 異動、166 異動、167 異動、168 異動、169 異動、170 異動、171 異動、172 異動、173 異動、174 異動、175 異動、176 異動、177 異動、178 異動、179 異動、180 異動、181 異動、182 異動、183 異動、184 異動、185 異動、186 異動、187 異動、188 異動、189 異動、190 異動、191 異動、192 異動、193 異動、194 異動、195 異動、196 異動、197 異動、198 異動、199 異動、200 異動、201 異動、202 異動、203 異動、204 異動、205 異動、206 異動、207 異動、208 異動、209 異動、210 異動、211 異動、212 異動、213 異動、214 異動、215 異動、216 異動、217 異動、218 異動、219 異動、220 異動、221 異動、222 異動、223 異動、224 異動、225 異動、226 異動、227 異動、228 異動、229 異動、230 異動、231 異動、232 異動、233 異動、234 異動、235 異動、236 異動、237 異動、238 異動、239 異動、240 異動、241 異動、242 異動、243 異動、244 異動、245 異動、246 異動、247 異動、248 異動、249 異動、250 異動、251 異動、252 異動、253 異動、254 異動、255 異動、256 異動、257 異動、258 異動、259 異動、260 異動、261 異動、262 異動、263 異動、264 異動、265 異動、266 異動、267 異動、268 異動、269 異動、270 異動、271 異動、272 異動、273 異動、274 異動、275 異動、276 異動、277 異動、278 異動、279 異動、280 異動、281 異動、282 異動、283 異動、284 異動、285 異動、286 異動、287 異動、288 異動、289 異動、290 異動、291 異動、292 異動、293 異動、294 異動、295 異動、296 異動、297 異動、298 異動、299 異動、300 異動、301 異動、302 異動、303 異動、304 異動、305 異動、306 異動、307 異動、308 異動、309 異動、310 異動、311 異動、312 異動、313 異動、314 異動、315 異動、316 異動、317 異動、318 異動、319 異動、320 異動、321 異動、322 異動、323 異動、324 異動、325 異動、326 異動、327 異動、328 異動、329 異動、330 異動、331 異動、332 異動、333 異動、334 異動、335 異動、336 異動、337 異動、338 異動、339 異動、340 異動、341 異動、342 異動、343 異動、344 異動、345 異動、346 異動、347 異動、348 異動、349 異動、350 異動、351 異動、352 異動、353 異動、354 異動、355 異動、356 異動、357 異動、358 異動、359 異動、360 異動、361 異動、362 異動、363 異動、364 異動、365 異動、366 異動、367 異動、368 異動、369 異動、370 異動、371 異動、372 異動、373 異動、374 異動、375 異動、376 異動、377 異動、378 異動、379 異動、380 異動、381 異動、382 異動、383 異動、384 異動、385 異動、386 異動、387 異動、388 異動、389 異動、390 異動、391 異動、392 異動、393 異動、394 異動、395 異動、396 異動、397 異動、398 異動、399 異動、400 異動、401 異動、402 異動、403 異動、404 異動、405 異動、406 異動、407 異動、408 異動、409 異動、410 異動、411 異動、412 異動、413 異動、414 異動、415 異動、416 異動、417 異動、418 異動、419 異動、420 異動、421 異動、422 異動、423 異動、424 異動、425 異動、426 異動、427 異動、428 異動、429 異動、430 異動、431 異動、432 異動、433 異動、434 異動、435 異動、436 異動、437 異動、438 異動、439 異動、440 異動、441 異動、442 異動、443 異動、444 異動、445 異動、446 異動、447 異動、448 異動、449 異動、450 異動、451 異動、452 異動、453 異動、454 異動、455 異動、456 異動、457 異動、458 異動、459 異動、460 異動、461 異動、462 異動、463 異動、464 異動、465 異動、466 異動、467 異動、468 異動、469 異動、470 異動、471 異動、472 異動、473 異動、474 異動、475 異動、476 異動、477 異動、478 異動、479 異動、480 異動、481 異動、482 異動、483 異動、484 異動、485 異動、486 異動、487 異動、488 異動、489 異動、490 異動、491 異動、492 異動、493 異動、494 異動、495 異動、496 異動、497 異動、498 異動、499 異動、500 異動、501 異動、502 異動、503 異動、504 異動、505 異動、506 異動、507 異動、508 異動、509 異動、510 異動、511 異動、512 異動、513 異動、514 異動、515 異動、516 異動、517 異動、518 異動、519 異動、520 異動、521 異動、522 異動、523 異動、524 異動、525 異動、526 異動、527 異動、528 異動、529 異動、530 異動、531 異動、532 異動、533 異動、534 異動、535 異動、536 異動、537 異動、538 異動、539 異動、540 異動、541 異動、542 異動、543 異動、544 異動、545 異動、546 異動、547 異動、548 異動、549 異動、550 異動、551 異動、552 異動、553 異動、554 異動、555 異動、556 異動、557 異動、558 異動、559 異動、560 異動、561 異動、562 異動、563 異動、564 異動、565 異動、566 異動、567 異動、568 異動、569 異動、570 異動、571 異動、572 異動、573 異動、574 異動、575 異動、576 異動、577 異動、578 異動、579 異動、580 異動、581 異動、582 異動、583 異動、584 異動、585 異動、586 異動、587 異動、588 異動、589 異動、590 異動、591 異動、592 異動、593 異動、594 異動、595 異動、596 異動、597 異動、598 異動、599 異動、600 異動、601 異動、602 異動、603 異動、604 異動、605 異動、606 異動、607 異動、608 異動、609 異動、610 異動、611 異動、612 異動、613 異動、614 異動、615 異動、616 異動、617 異動、618 異動、619 異動、620 異動、621 異動、622 異動、623 異動、624 異動、625 異動、626 異動、627 異動、628 異動、629 異動、630 異動、631 異動、632 異動、633 異動、634 異動、635 異動、636 異動、637 異動、638 異動、639 異動、640 異動、641 異動、642 異動、643 異動、644 異動、645 異動、646 異動、647 異動、648 異動、649 異動、650 異動、651 異動、652 異動、653 異動、654 異動、655 異動、656 異動、657 異動、658 異動、659 異動、660 異動、661 異動、662 異動、663 異動、664 異動、665 異動、666 異動、667 異動、668 異動、669 異動、670 異動、671 異動、672 異動、673 異動、674 異動、675 異動、676 異動、677 異動、678 異動、679 異動、680 異動、681 異動、682 異動、683 異動、684 異動、685 異動、686 異動、687 異動、688 異動、689 異動、690 異動、691 異動、692 異動、693 異動、694 異動、695 異動、696 異動、697 異動、698 異動、699 異動、700 異動、701 異動、702 異動、703 異動、704 異動、705 異動、706 異動、707 異動、708 異動、709 異動、710 異動、711 異動、712 異動、713 異動、714 異動、715 異動、716 異動、717 異動、718 異動、719 異動、720 異動、721 異動、722 異動、723 異動、724 異動、725 異動、726 異動、727 異動、728 異動、729 異動、730 異動、731 異動、732 異動、733 異動、734 異動、735 異動、736 異動、737 異動、738 異動、739 異動、740 異動、741 異動、742 異動、743 異動、744 異動、745 異動、746 異動、747 異動、748 異動、749 異動、750 異動、751 異動、752 異動、753 異動、754 異動、755 異動、756 異動、757 異動、758 異動、759 異動、760 異動、761 異動、762 異動、763 異動、764 異動、765 異動、766 異動、767 異動、768 異動、769 異動、770 異動、771 異動、772 異動、773 異動、774 異動、775 異動、776 異動、777 異動、778 異動、779 異動、780 異動、781 異動、782 異動、783 異動、784 異動、785 異動、786 異動、787 異動、788 異動、789 異動、790 異動、791 異動、792 異動、793 異動、794 異動、795 異動、796 異動、797 異動、798 異動、799 異動、800 異動、801 異動、802 異動、803 異動、804 異動、805 異動、806 異動、807 異動、808 異動、809 異動、810 異動、811 異動、812 異動、813 異動、814 異動、815 異動、816 異動、817 異動、818 異動、819 異動、820 異動、821 異動、822 異動、823 異動、824 異動、825 異動、826 異動、827 異動、828 異動、829 異動、830 異動、831 異動、832 異動、833 異動、834 異動、835 異動、836 異動、837 異動、838 異動、839 異動、840 異動、841 異動、842 異動、843 異動、844 異動、845 異動、846 異動、847 異動、848 異動、849 異動、850 異動、851 異動、852 異動、853 異動、854 異動、855 異動、856 異動、857 異動、858 異動、859 異動、860 異動、861 異動、862 異動、863 異動、864 異動、865 異動、866 異動、867 異動、868 異動、869 異動、870 異動、871 異動、872 異動、873 異動、874 異動、875 異動、876 異動、877 異動、878 異動、879 異動、880 異動、881 異動、882 異動、883 異動、884 異動、885 異動、886 異動、887 異動、888 異動、889 異動、890 異動、891 異動、892 異動、893 異動、894 異動、895 異動、896 異動、897 異動、898 異動、899 異動、900 異動、901 異動、902 異動、903 異動、904 異動、905 異動、906 異動、907 異動、908 異動、909 異動、910 異動、911 異動、912 異動、913 異動、914 異動、915 異動、916 異動、917 異動、918 異動、919 異動、920 異動、921 異動、922 異動、923 異動、924 異動、925 異動、926 異動、927 異動、928 異動、929 異動、930 異動、931 異動、932 異動、933 異動、934 異動、935 異動、936 異動、937 異動、938 異動、939 異動、940 異動、941 異動、942 異動、943 異動、944 異動、945 異動、946 異動、947 異動、948 異動、949 異動、950 異動、951 異動、952 異動、953 異動、954 異動、955 異動、956 異動、957 異動、958 異動、959 異動、960 異動、961 異動、962 異動、963 異動、964 異動、965 異動、966 異動、967 異動、968 異動、969 異動、970 異動、971 異動、972 異動、973 異動、974 異動、975 異動、976 異動、977 異動、978 異動、979 異動、980 異動、981 異動、982 異動、983 異動、984 異動、985 異動、986 異動、987 異動、988 異動、989 異動、990 異動、991 異動、992 異動、993 異動、994 異動、995 異動、996 異動、997 異動、998 異動、999 異動、1000 異動、1001 異動、1002 異動、1003 異動、1004 異動、1005 異動、1006 異動、1007 異動、1008 異動、1009 異動、1010 異動、1011 異動、1012 異動、1013 異動、1014 異動、1015 異動、1016 異動、1017 異動、1018 異動、1019 異動、1020 異動、1021 異動、1022 異動、1023 異動、1024 異動、1025 異動、1026 異動、1027 異動、1028 異動、1029 異動、1030 異動、1031 異動、1032 異動、1033 異動、1034 異動、1035 異動、1036 異動、1037 異動、1038 異動、1039 異動、1040 異動、1041 異動、1042 異動、1043 異動、1044 異動、1045 異動、1046 異動、1047 異動、1048 異動、1049 異動、1050 異動、1051 異動、1052 異動、1053 異動、1054 異動、1055 異動、1056 異動、1057 異動、1058 異動、1059 異動、1060 異動、1061 異動、1062 異動、1063 異動、1064 異動、1065 異動、1066 異動、1067 異動、1068 異動、1069 異動、1070 異動、1071 異動、1072 異動、1073 異動、1074 異動、1075 異動、1076 異動、1077 異動、1078 異動、1079 異動、1080 異動、1081 異動、1082 異動、1083 異動、1084 異動、1085 異動、1086 異動、1087 異動、1088 異動、1089 異動、1090 異動、1091 異動、1092 異動、1093 異動、1094 異動、1095 異動、1096 異動、1097 異動、1098 異動、1099 異動、1100 異動、1101 異動、1102 異動、1103 異動、1104 異動、1105 異動、1106 異動、1107 異動、1108 異動、1109



【提出・お問合せ先】

〒527-8527

滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

東近江市税務部資産税課

電 話 0748-24-5637

0748-24-5605

I P 050-5801-5637

050-5801-5605

FAX(直通) 0748-24-5577

永源寺支所

〒527-0231 山上町1316番地

電話(代表) 0748-27-1121

五個荘支所

〒527-1492 五個荘小幡町318番地

電話(代表) 0748-48-3111

愛東支所

〒527-0162 妹町29番地

電話(代表) 0749-46-0211

湖東支所

〒527-0113 池庄町505番地

電話(代表) 0749-45-0511

能登川支所

〒521-1292 鉢光寺町262番地

電話(代表) 0748-42-1331

蒲生支所

〒529-1592 市子川原町676番地

電話(代表) 0748-55-1161